

# 非水ガラス系セメントミルク凝結硬化促進剤

# SELECTOR<sup>®</sup>

# 長結・高強度

# 早強セメント

## 特徴

- 非水ガラス系セメントミルクグラウト剤のため、恒久的強度を必要とする地盤安定強化、空洞充填等に有効です。
- 一般のセメントミルクと比較するとブリージングは殆どありません。
- ゲル化後の初期強度発現は良好です。
- セメント鉱物系組成物ではありませんのでそれ自体水と反応して硬化する事はなく取り扱いが簡単です。
- ゲルタイムは30分・1時間の2種類から選択可能です。

## 荷姿

- 硬化剤: 16kg ビニール袋入り
- 助剤B: 6kg 紙袋入り
- 助剤C: 4.5kg 紙袋入り

## 配合表

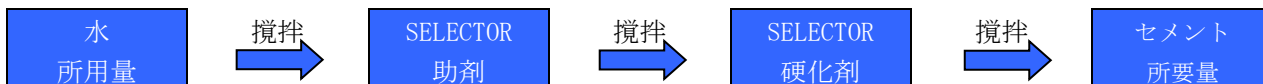
型番 (1液)	2000			
	早強セメント	硬化剤	助剤	水
HS30M	175kg	16kg	助剤B 6kg	136.6L
HS1H			助剤C 4.5kg	137.6L

## 取り扱い上の注意

- ① SELECTORは硬化剤、促進剤はアルカリ性ですので、耐アルカリ性手袋、保護メガネ、保護マスク、液がしみ込まない保護着衣、ゴム長靴等を着用し、衣服や身体に触れないようにして下さい。特に目等の粘膜面への付着、袖口、首筋、靴の中には十分注意して下さい。取り扱い後は、手洗い、うがい、洗顔を十分行って下さい。  
〈応急処置〉
  - ・目に入った場合は、多量の水で15分以上洗浄しできるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
  - ・誤って飲み込んだ場合は、口の中をよく洗浄しコップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて下さい。その際無理に吐かせないで下さい。その後直ちに医師の診察を受けて下さい。
  - ・皮膚に付着した場合は、直ぐに多量の水で、ぬめりが完全に取れるまで洗浄して下さい。異常を感じた場合は直ちに医師の診察を受けて下さい。
- ② SELECTORの保管、貯蔵に当たりましては、高温多湿とまらない場所に保管して下さい。また、水濡れしないように保管して下さい。

## 調合方法

### 1液タイプ

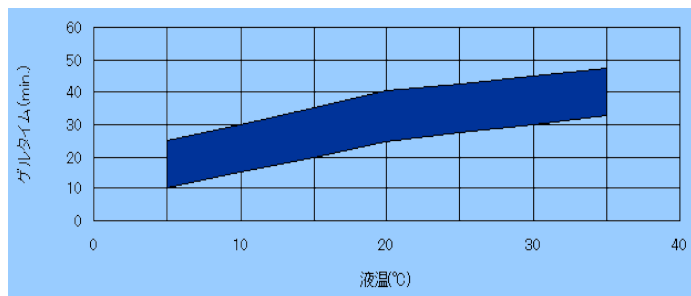


- ① 所要量の水を張り攪拌しながら助剤を投入して十分に分散させます。
- ② 更に攪拌しながら硬化剤を投入し1～2分攪拌します。
- ③ 最後にセメントを投入し2分程度攪拌し調合液とします。

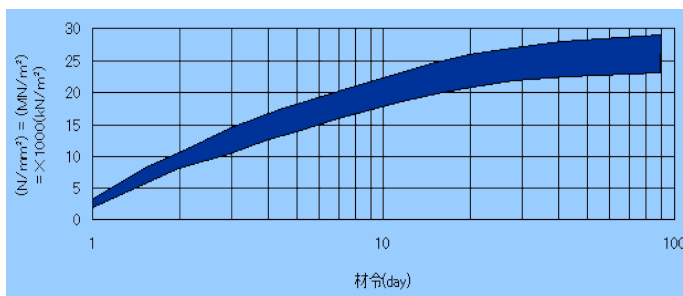
## 性能

### HS30M(1液)

ゲルタイム (液温 20℃ : 25分~40分)

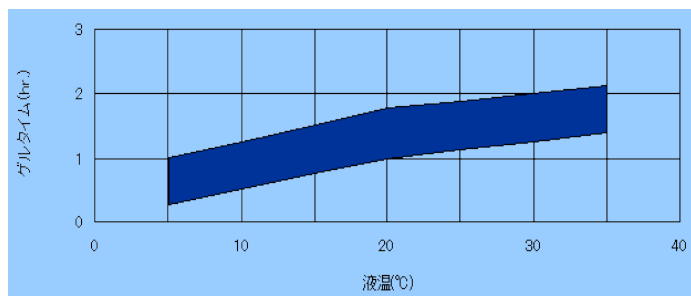


ホモゲルー軸圧縮強度 (28日後 : 約 25 (N/mm<sup>2</sup>))

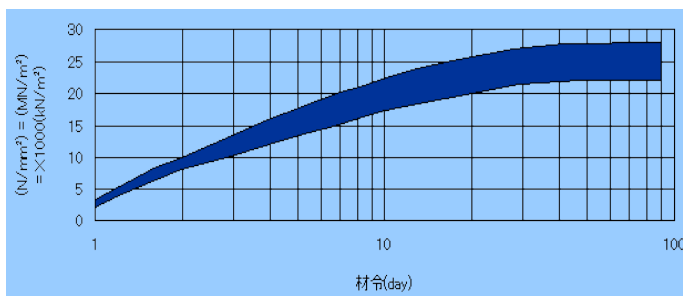


### HS1H(1液)

ゲルタイム (液温 20℃ : 1時間~1時間40分)



ホモゲルー軸圧縮強度 (28日後 : 約 25 (N/mm<sup>2</sup>))

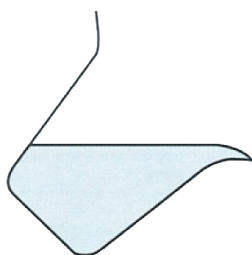


## 溶解上の注意

- ①硬化剤の投入 : 一度に投入すると大きな塊となり溶解性が悪くなる場合があります。
- ②水 量 : 水はやや少な目に張り、最後に 2000にして下さい。
- ③水 温 : 調合には5℃以上の水を使用して下さい。また、水温が35℃を越えるような場合は、正常なゲルタイムが得られないことがあります。

## ゲルタイム測定方法

- ①容器に調合液を適量採ります。
- ②容器を時々傾けて流出しなくなった時点をゲルタイムとします。



## ゲルタイム測定上の注意

SELECTOR、サンコーハードEHの様な珪酸ナトリウムを用いない非水ガラス系セメントミルクグラウト剤では、珪酸ナトリウム系グラウト剤のようなはっきりしたゲル化点は示しません。従って調合液を攪拌し続けたり、頻繁にビーカーを傾けたりするとゲル化し始めた緩いセメントのゲル構造が壊れていわゆる練り殺し状態になり、正常なゲルタイムを示さなくなります。またセメントの銘柄、品質によりゲルタイムはカタログ値と異なる場合があります。

